

2025年度採用 臨床研修医募集要項

2024年5月 受験案内

■試験日

筆記試験(リモート) 2024年8月17日(土) 午前

面接 2024年8月23日(金) 午後

または8月24日(土)

※予備日：8月27日(火)

■受付期間

2024年7月 1日(月)

～7月 29日(月) <<必着>>

午前9時～午後5時(土・日曜日、祝日は除く)

■受付場所

加古川中央市民病院 臨床研修支援室(3階)

加古川中央市民病院



地方独立行政法人 加古川市民病院機構 教育支援センター 臨床研修支援室 採用担当

【加古川中央市民病院】 〒675-8611 兵庫県加古川市加古川町本町439番地

電話：(079) 451-5500 ホームページ：<http://www.kakohp.jp>

1 応募資格

2024年度医師国家試験受験予定者で医師臨床研修マッチングシステムに参加する人

2 採用予定人員

- ・加古川中央市民病院 臨床研修プログラム 12名
- ・加古川中央市民病院 臨床研修産婦人科医育成プログラム 2名
- ・加古川中央市民病院 臨床研修小児科医育成プログラム 1名

3 受験申込

申込 必要書類	・採用試験申込書：当院所定用紙（ホームページからダウンロードできます） ・卒業（見込み）証明書 ・成績証明書
郵送による 申込	・7月1日～7月29日（必着） ・封筒の表に「 臨床研修医採用試験申込書 」と朱書き、下記送付先へ郵送してください。 【送付先】〒675-8611 兵庫県加古川市加古川町本町439番地 地方独立行政法人加古川市民病院機構 教育支援センター 臨床研修支援室 採用担当宛

4 試験

(1) 試験日

筆記試験(リモート) 2024年8月17日(土) 午前

面接 2024年8月23日(金) 午後 または 8月24日(土)

※予備日：8月27日(火)

(2) 試験会場

加古川中央市民病院 3階

(3) 試験内容

筆記試験、個別面接試験、書類選考

(4) 持ち物

試験案内通知、本人確認書類（写真添付のもの）

(5) 留意事項

当院は、医師臨床研修マッチング協議会が実施するマッチングに参加しています。応募にあたってはマッチングに参加登録してください。

5 研修開始時期および期間

2025年4月から2年間の一貫研修

6 研修医の処遇 ※ 2024年4月時点での予定であり、今後変更になる場合があります。

身分	地方独立行政法人の嘱託職員（常勤）
研修手当	一年次 306,000円（基本額） / 608,175円（賞与年額）
	二年次 316,000円（基本額） / 821,600円（賞与年額）
	宿日直手当・時間外勤務手当等は別途支給
勤務時間	8時30分～17時00分（時間外勤務あり） ※時間外労働時間は年間960時間以内。
休日	土・日・祝日 / 年末年始
休暇	1年次 有給休暇10日 / 健康増進休暇5日 2年次 有給休暇11日 / 健康増進休暇5日
住居	・月額家賃補助（上限35,000円） ・仲介手数料、敷金等費用補助
健康管理	健康診断（年2回）、インフルエンザ予防接種、麻疹・風疹・水痘・ムンプス・B型肝炎ワクチン接種など
社会保険等	共済組合 / 厚生年金 / 労災保険 / 雇用保険
外部への研修活動	学会・研究会等への参加可。参加費・旅費の支給あり
その他	医療賠償責任保険（病院において加入）、職員互助会あり

☆ 研修プログラムについて ☆

1. プログラムの目的と特色

<p>【目的】 医師としての人格形成と一般的な診療において頻繁に係る負傷又は疾病に適切に対応できる基本的な診療能力（知識・技能・態度）の修得、そして各自の志望する専門科において、地域に貢献できる医師の育成を目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療制度の基本である保険診療の知識を修得する。 2) 病院内外の医療従事者（地域の他の医師、コメディカルスタッフなど）と良好な人間関係を築き、チーム医療が実践できる。 3) 患者及びその家族との信頼関係をつくることできる。 4) 日常よく遭遇する疾患や外傷の診断と治療ができる。 5) 救急の初期治療ができる。 6) 医療情報、診察内容などを正しく記録する習慣を身につける（カルテ、診断書、入院サマリーなど）。 7) 志望科で専門的な診療能力を高める。 	<p>【特色】 東播磨医療圏域で地域医療の中核を担い、当院の各診療科、地域の診療所や離島、精神科病院、および保健所等と連携して、医学・医療全般の知識と技術の習得を図り、プライマリー・ケアに対応できる医師の養成を目指している。本プログラムには以下の7つの特色を有する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多彩な診療科で研修が可能 2. 様々な専門的な救急疾患の研修が可能（3次救急現場の体験も可） 3. 実践研修・シミュレーション教育が充実 4. 個々にオーダーメイド研修プログラムを作成 5. 豊富な指導医と指導体制の充実 6. 多くの診療科から将来の専門性を見据えた研修 7. 地域医療は離島研修を含む
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 研修カリキュラム

【加古川中央市民病院 臨床研修プログラム】

一般的な診療において頻繁に係る負傷又は疾病に適切に対応できる基本的な診療能力（知識・技能・態度）の修得のため、1年次に内科6ヵ月、救急部門3ヵ月（救急科2ヵ月、麻酔科1ヵ月）、必修分野3ヵ月を実施し、2年次に救急科1ヵ月、地域医療1ヵ月、必修分野を1ヵ月と将来の志望科により選択科目を9ヵ月履修する。

◎研修ローテーション（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<1年次>	内科 【24週以上】						救急科 【8週以上】		麻酔科 【4週以上】	外科 【4週以上】	小児科 【4週以上】	産婦人科 【4週以上】
<2年次>	救急科 【4週以上】	精神科 【4週以上】	地域医療 【4週以上】	選択科目 【36週以上】								

■精神科・・・当院(2週)・東加古川病院(精神科病棟)(2週)で研修

■地域医療・・・1ヶ所の近隣の開業医や兵庫県内の病院及び診療所、また沖縄の離島研修から選択研修。研修期間は、4週または6週とする。伊江村立診療所(離島研修)での研修は2週とする。

市立加西病院、兵庫県丹波医療センター病院群、高砂市民病院での研修は4週とし、離島研修を選択する場合は、計6週の研修とする。兵庫県立丹波医療センター病院群の研修は、丹波市ミルネ診療所の研修を2週以上とし、残りを丹波医療センター内科で行う。兵庫県立丹波医療センター内科での研修は、地域研修時のみとする。地域医療研修中に在宅診療を2回経験する。

■選択分野・・・同一診療科の選択は最長24週とする。

既存の診療科及び保健・医療行政(4週)、救急科(3次救急)研修、救急科(3次救急)研修は、兵庫医科大学病院(救命救急センター)、神戸大学医学部付属病院(救命救急科)、兵庫県立丹波医療センター(救急部)、兵庫県立はりま姫路総合医療センター(救急科)のいずれかを2週もしくは4週選択可能。ただし、その場合は、当院の救急科を同期間(2週もしくは4週)選択することとする。

■一般外来・・・総合内科・小児科・外科・地域医療の研修中に実施する(4週)。

■研修時期は、研修医の希望や各科の受け入れ状況などにより調整する。

【加古川中央市民病院 臨床研修産婦人科医育成プログラム】

一般的な診療において頻繁に係る負傷又は疾病に適切に対応できる基本的な診療能力（知識・技能・態度）の修得のため、1年次に内科6ヵ月、救急部門3ヵ月（救急科2ヵ月、麻酔科1ヵ月）、必修分野3ヵ月を実施し、2年次に救急部門1ヵ月、地域医療1ヵ月、必修分野を1ヵ月、産婦人科2ヵ月（または3ヶ月）と選択科目を7ヵ月（または6ヵ月）履修する。

◎研修ローテーション（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<1年次>	内科 【24週以上】						救急科 【8週以上】		麻酔科 【4週以上】	外科 【4週以上】	小児科 【4週以上】	産婦人科 【4週以上】
<2年次>	救急科 【4週以上】	精神科 【4週以上】	地域医療 【4週以上】	産婦人科 【8または12週以上】	選択科目 【28または24週以上】							

■精神科・・・当院(2週)・東加古川病院(精神科病棟)(2週)で研修

■地域医療・・・1ヶ所の近隣の開業医や兵庫県内の病院及び診療所、また沖縄の離島研修から選択研修。研修期間は、4週または6週とする。伊江村立診療所(離島研修)での研修は2週とする。

市立加西病院、兵庫県丹波医療センター病院群、高砂市民病院での研修は4週とし、離島研修を選択する場合は、計6週の研修とする。兵庫県立丹波医療センター病院群の研修は、丹波市ミルネ診療所の研修を2週以上とし、残りを丹波医療センター内科で行う。兵庫県立丹波医療センター内科での研修は、地域研修時のみとする。地域医療研修中に在宅診療を2回経験する。

■選択分野・・・同一診療科の選択は最長24週とする。

既存の診療科及び保健・医療行政(4週)、救急科(3次救急)研修、救急科(3次救急)研修は、兵庫医科大学病院(救命救急センター)、神戸大学医学部付属病院(救命救急科)、兵庫県立丹波医療センター(救急部)、兵庫県立はりま姫路総合医療センター(救急科)のいずれかを2週もしくは4週選択可能。ただし、その場合は、当院の救急科を同期間(2週もしくは4週)選択することとする。

■一般外来・・・総合内科・小児科・外科・地域医療の研修中に実施する(4週)。

■研修時期は、研修医の希望や各科の受け入れ状況などにより調整する。

【加古川中央市民病院 臨床研修小児科医育成プログラム】

一般的な診療において頻りに係る負傷又は疾病に適切に対応できる基本的な診療能力（知識・技能・態度）の修得のため、1年次に内科6ヵ月、救急部門3ヵ月（救急科2ヵ月、麻酔科1ヵ月）、必修分野3ヵ月を実施し、2年次に救急部門1ヵ月、地域医療1ヵ月、必修分野を1ヵ月、小児科4ヵ月と選択科目を5ヵ月履修する。

◎研修ローテーション（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
<1年次>	内科 【24週以上】						救急科 【8週以上】	麻酔科 【4週以上】	外科 【4週以上】	小児科 【4週以上】	産婦人科 【4週以上】		
<2年次>	救急科 【4週以上】	精神科 【4週以上】	地域医療 【4週以上】	小児科 【16週以上】			選択科目 【20週以上】						

■精神科・・・当院(2週)・東加古川病院(精神科棟)(2週)で研修

■地域医療・・・1ヶ所の近隣の開業医や兵庫県内の病院及び診療所、また沖縄の離島研修から選択研修。研修期間は、4週または6週とする。伊江村立診療所(離島研修)での研修は2週とする。

市立加西病院、兵庫県丹波医療センター病院群、高砂市民病院での研修は4週とし、離島研修を選択する場合は、計6週の研修とする。

兵庫県立丹波医療センター病院群の研修は、丹波市ミルネ診療所の研修を2週以上とし、残りを丹波医療センター内科で行う。

兵庫県立丹波医療センター内科での研修は、地域研修時のみとする。地域医療研修中に在宅診療を2回経験する。

■選択分野・・・同一診療科の選択は最長24週とする。

既存の診療科及び保健・医療行政(4週)、救急科(3次救急)研修。

救急科(3次救急)研修は、兵庫医科大学病院(救命救急センター)、神戸大学医学部付属病院(救命救急科)、

兵庫県災害医療センター(救急部)、兵庫県立はりま姫路総合医療センター(救急科)のいずれかを2週もしくは4週選択可能。

ただし、その場合は、当院の救急科を同期間(2週もしくは4週)選択することとする。

■一般外来・・・総合内科・小児科・外科・地域医療の研修中に実施する(4週)。

■研修時期は、研修医の希望や各科の受け入れ状況などにより調整する。

☆加古川中央市民病院概要☆

(1) 診療科

内科/総合内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、腫瘍・血液内科、リウマチ・膠原病内科、腎臓内科、脳神経内科、小児科、小児循環器内科、外科、消化器外科、乳腺外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、脳神経外科、麻酔科、精神神経科、放射線診断科・IVR科、放射線治療科、歯科口腔外科、病理診断科、救急科、リハビリテーション科、緩和ケア科

(2) 職員数（2024年4月1日現在 ※臨時職員除く）

医師275名（初期研修医31名、専攻医65名等を含む）、看護師718名、准看護師2名、助産師59名、医療技術職員255名、事務職員等302名【合計1,611名】

(3) 病床数 一般 600床